

事務事業名	新規就農者育成確保支援事業			担当	産業部 農政課 農政係
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業)
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 H22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
法令根拠	農業経営基盤強化促進法、真岡市新規就農者育成確保支援事業費補助金交付要綱				
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	3.農業振興費	
予算科目					
事業概要	<p>・新規就農者の育成確保を図るため、研修費の一部と就業時の一部を支援する事業を平成22年度から開始した。その後、事業の拡充を図り、平成30年度から以下の支援事業を実施している。 新規就農者研修支援...JAはが野「新規就農塾」で研修後、認定新規就農者として真岡市内で就業した場合、研修費を支援する。(研修生1名に対して、就業先市町・JAはが野で各180,000円/年を負担する) 新規就農者フォローアップ事業...研修後、就業した認定新規就農者が、自立できるまでの1年間、農業経営等を気軽に相談できる相談役として、「新規就農者相談員」を配置する。(指導員に対して、月額5,000円を支給) 新規就農者経営支援...市が認定した新規就農者の初期投資の一部を支援する。(初期投資費用の30%、限度額360万円、認定期間中に1度限り) 空き施設等有効利用促進事業...空き施設(パイプハウス等)を認定新規就農者に5年以上賃し付けた者に対して、施設1㎡当たり500円の奨励金を交付する。(初年度に1度限り) 真岡市で就業した認定新規就農者がアパート等の借家を持っている場合、月2万円を上限に補助。(就業後4年以内) 認定新規就農者となっている親元に後継者が就業した場合、施設・機械等の購入費用の一部を補助することで、農業経営上の支援を図る。補助率3/10、上限30万円(後継者が就業後3年以内、1度限り) 認定新規就農者：市から農業経営基盤強化促進法第14条の4に規定する青年等就業計画の認定を受けた農業者</p> <p>(2) 国の補助事業として、収益面でリスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援する「農業次世代人材投資事業」(旧青年就農給付金制度)が平成24年度から開始された。(初年度：年間150万円、2～5年目：年間120万円)</p>				

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 市単新規就農者育成確保支援事業 ・研修支援 1件 ・フォローアップ 0件 ・経営支援 1件 ・空き施設有効利用 1件:212㎡ ・家賃支援 3件 ・親元就農 0件 農業次世代人材投資事業 ・交付対象者 19名		名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)
3年度計画 市単新規就農者育成確保支援事業 ・研修支援 2件 ・フォローアップ 5件 ・経営支援 6件 ・空き施設有効利用 600㎡ ・家賃支援 3件 ・親元就農 5件 農業次世代人材投資事業 ・交付対象者 20名		ア 新規就農者支援補助金額	千円	6,811	4,206	19,409	2,409	18,480
		イ 農業次世代人材投資交付金	千円	36,576	30,518	26,646	23,658	27,750
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
新規就農者 JAはが野新規就農塾研修生 農業次世代人材投資資金申請者		名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)
		ア JAはが野新規就農塾研修生	人	1	0	0	1	0
		イ 市の認定を受けた新規就農者	人	5	4	1	8	5
		ウ 農業次世代人材投資交付金対象者	人	31	23	20	19	20
		エ						
		オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
研修から経営開始まで切れ目のない支援を行うことで、新規就農者の育成・確保を図る。		名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)
		ア 市内で就業した研修生	人	1	0	0	1	0
		イ 新規就農者数	人	23	17	11	18	20
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	3,930	1,749	0
		県支出金	千円	36,576	30,518	26,646	23,658	27,750
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	6,811	4,206	15,479	2,409	18,480
事業費計 (A)		千円	43,387	34,724	46,055	27,816	46,230	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 地域農業の担い手となる新たな人材を育成・確保することは、行政の役割であり市の政策に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 農業従事者の減少がますます深刻化していることから、地域農業を維持するために市が関与していく必要がある。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 農業の振興と活性化を図るため、新規就農者を支援することは妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 関係機関と連携し、就農希望者の意向に沿った相談・指導を行い、就農に繋げている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 関係要綱等に基づき、必要最小限の事業費で実施している。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
<p>(2) 課題、課題の克服の方向性</p>																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>		<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持			/																			
	低下			/																			
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																							
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																						